

## 研究活動 Research Activities

各研究者ごとの研究活動を[展覧会の企画・構成], [著書], [論文], [翻訳], [エッセイ・作品解説など], [口頭発表・講演など], [その他の活動]の7項目を中心に報告する(研究者名の五十音順)。項目は研究者によって多少の異同がある。また, これは各研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり, 著作目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。大項目に絞った報告もある。

河口公生/Kimio KAWAGUCHI

[保存修復事業]

前庭彫刻免震化工事基本設計ならびに彫刻修復処置プロジェクト: ロダン作《考える人》《カレーの市民》の基本設計, 前庭意匠(1999年7月—2000年3月末)

[講演]

国立西洋美術館夏期講座 講演「画家の技法と光」7月7日  
沖縄県国際文化課主催 第二回美術館研修  
講演「修復と保存のコンセプトと実際」「理論研究と実際」「我が国における保存と未来」

[研究]

平成11年度文部省科学研究費(基盤研究A-2)「絵画作品展示・輸送用マイクロクライメイトボックスの開発」  
共同研究「酸化プロピレンの絵画材料に対する影響」

[論文]

「美術作品輸送用クレートの構造と輸送中の温度・相対湿度の変化について(その1)」『国立西洋美術館研究紀要』No.4, 2000年3月, pp.57-68(共著)

[その他の活動]

平成11年度文化庁登録美術品調査(絵画3点)  
小企画展「地獄の門の免震化と修復」1999年7月～  
アメリカ西海岸地震対策調査出張, 1999年11月  
Fine Arts Museums of San Francisco (M. H. de Young Museum, California Palace of Legion of Honor), Stanford University Museum of Art, Los Angeles County Museum of Fine Art, The Getty Center (J. P. Getty Museum)

喜多崎 親/Chikashi KITAZAKI

[論文]

「聖性と写実—ボナの《キリスト》と階級的な身体イメージ」『美学』第50巻第1号(通号197号), 1999年6月, pp.48-59  
「呼び交わす人物と背景 オディロン・ルドンの《ロベール・ド・ドムシー男爵夫人の肖像》に見る象徴主義絵画の隠喩的構造」『国立西洋美術館研究紀要』No.4, 2000年3月, pp.7-25

[エッセイ・展覧会評など]

「架空の帝国」『西洋美術館』, 小学館, 1999年, pp.200-201  
「ギュスターヴ・モロー展」『西洋美術研究』No.2, 1999年9月, pp.219-223

[口頭発表・講演など]

「キリストの皮膚—病的変異と聖性発現のメカニズム」, シンポジウム「The Face of Skin/皮膚の想像力」2000年7月18日, 国立西洋美術館講堂  
「異界の創生—19世紀の幻想空間」オルセー美術館展記念講演会, 11月6日, 国立西洋美術館講堂

[その他の活動]

「フォッグ美術館所蔵ウインスロップ・コレクション(仮題)展(2002年開催予定)の調査企画  
『国立西洋美術館研究紀要』No.4の編集  
『国立西洋美術館年報』No.33の編集  
早稲田大学第一文学部, 第二文学部非常勤講師  
連続講座「19世紀 パリの美術」豊島区立巣鴨社会教育会館, 全4回(10月7日, 14日, 21日, 28日)

幸福 輝/Akira KOFUKU

[エッセイ・作品解説など]

「エドワールト・コリール《ヴァニタス—書物と髑髏のある静物》」『国立西洋美術館年報』No.33, 2000年3月  
「リチャード・ウィルソン《ティヴェリの風景(カプリッチョ)》」『国立西洋美術館年報』No.33, 2000年3月  
「イタリアの光—クロード・ロランと理想風景」(展覧会報告), 『国立西洋美術館年報』No.33, 2000年3月

[講演]

連続講義「ブリューゲルにおける中心と周縁」1999年7-8月, 朝日カルチャー, 全4回  
「オランダ絵画の世界—レンブラントとフェルメール」1999年10月, 武蔵野美術大学特別講義, 全2回  
「恋のゆくえ—フェルメールの《恋文》」2000年3月, 京都造形芸術大学特別講義

[その他の活動]

「レンブラント, フェルメールとその時代」(2000年開催)の準備  
「レンブラント: 神話, 聖書, 物語」(2003年開催予定)の準備  
座談会「美術館学芸員の仕事」(山梨俊夫, 塩田純一, 幸福輝), 『本の窓』, 小学館, 1999年11月  
オランダにおける国立美術館の民営化実態調査(1999年9月)  
東京国立近代美術館運営委員  
明治大学政経学部, 第二文学部非常勤講師(1999年4月—2000年3月)

越川倫明/Michiaki KOSHIKAWA

[著書]

青柳正規ほか編『西洋美術館』, 小学館, 1999年, pp.444-453, 456-459, 738-745(分担執筆)

[論文]

“El Greco and Federico Zuccari,” in N. Hadjinicolaou (ed.), *El Greco in Italy and Italian Art: Proceedings of the International Symposium, Rethymno, Crete, 22-24 September 1995*, University of Crete, Rethymno, 1999, pp.357-371  
「Dialogo della pittura di M. Lodovico Dolce, intitolato L’Aretino: 翻訳と注解(4)」『五浦論叢』6号, 1999年, pp.1-31(共著)

「エル・グレコのイタリア時代 (1): ズッカロ兄弟との関係について」『美術史論叢』16号, 1999年, pp.149-168

「フィレンツェ, ヴァザーリ邸に描かれた古代芸術家伝説」『西洋美術研究』3号, 2000年3月, pp. 93-111

[口頭発表・講演など]

「エルミターージュ美術館所蔵イタリア・ルネサンス美術展」関連講演会, 1999年4-5月(計5回), 国立西洋美術館(2回)/武蔵野公会堂(日本・イタリア友の会主催)/くにたち市民芸術小ホール(国立市・NHK主催)/国際文化会館(イタリア研究会例会)

「ヴェネツィア, パラッツォ・ドゥカーレの《天国》図について」1999年11月, 多摩美術大学(第9回特別公開講座「宗教美術における終末と再生」)における講演

[その他の活動]

学習院大学非常勤講師

タチヤーナ・クストジエワ「ラファエッロの芸術」/イリーナ・アルテミエワ「パオロ・ヴェロネーゼの芸術」1999年6月, 国立西洋美術館における招待講演会の企画運営・通訳

『西洋美術研究』3号(2000年3月)編集

「イタリア中部地震文化財修復支援募金」事務局運営(1997年10月～)

佐藤直樹/Naoki SATO

[展覧会企画・構成]

「記憶された身体 — アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫」国立西洋美術館, 1999年7月6日-8月29日/ハンブルク美術工芸博物館, 9月24日-11月7日

「西美をうたう — 短歌と美術が出会うとき」2000年夏のプログラムの企画, 準備

[論文・著作]

『記憶された身体 — アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫』展カタログ(責任編集: イルゼビル・バルタ=フリードル, クリストフ・ガイスマール=ブランディ, 佐藤直樹), 国立西洋美術館, 1999年

「複製される思考空間 — アビ・ヴァールブルクの知的遺産とその再生 —」『記憶された身体 — アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫』展カタログ, 1999年7月6日-8月29日, 国立西洋美術館, 1999年, pp.230-236

Ilsebill Barta-Fliedl, Christoph Geissmar-Brandi und Naoki Sato (Hrsg.), *Rhetorik der Leidenschaft - Zur Bild-*

*sprache der Kunst im Abendland*, 23. 09.1999 - 07. 11. 1999 im Museum für Kunst und Gewerbe Hamburg, Ausstellungskatalog, Döling und Galitz Verlag, Hamburg, 1999

Der Reproduzierbare Denkraum - Aby Warburgs intellektuelles Erbe und seine Wiedergeburt, in: *Rhetorik der Leidenschaft - Zur Bildsprache der Kunst im Abendland*, Döling und Galitz Verlag, Hamburg, 1999

[雑誌記事・展覧会評等]

「『デュラー, ホルバイン, グリュネヴァルト』展, 『ホルバインの大使たち』展を見て」『西洋美術研究』Vol.1, 1999年, 三元社, pp.187-190

[学会発表・講演など]

シンポジウム「The Faces of Skin/皮膚の想像力」(ドイツ・日本研究所と共催)企画・司会, 1999年7月16日-18日, 国立西洋美術館講堂

「記憶された身体 — アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫」展ギャラリートーク, 1999年7月30日, 8月13日, 国立西洋美術館企画展示場

代々木ゼミナール造形学校芸術学科コース, 夏期講習会特別公演「学芸員の仕事について」, 1999年8月28日

[その他の活動]

日本女子大学文学部非常勤講師(史学科, 芸術・思想講座「版画の歴史」), 1999年9月-2000年3月

高階秀爾/Shuji TAKASHINA

[論文]

「光と闇」『バツハ全集』第5巻, 小学館, 1999年, pp.152-161

「江戸東京名所考」『近代画説』第8号, 明治美術学会, 1999年, pp.114-121

「富岡鉄斎筆 富士山図屏風」『國華』第1250号, 國華社, 1999年, pp.35-36

[エッセイ, 書評など]

「人形を抱く少女」『正論』4月号, 産経新聞社, 1999年, pp.31-33

「美術館博物館の今後」『うえの』4月号, うえののれん会, 1999年, pp.10-12

「1900年のパリ — 繁華と墮落 —」『Rotonda』No.13, (財)埼玉県芸術文化振興財団, 1999年, pp.61-62

「『草上の昼食』にみるピカソの創造の秘密」, 産経新聞, 1997年4月11日

「上野の山と私」『うえの』5月号, うえののれん会, 1999年, pp.36-38

「オルセー美術館展名作の秘密・フレデリック・バジール『家族の集まり』」, 日本経済新聞, 1999年5月3日

「奇跡の芸術・フェルメールの世界」『フェルメール・クアルテット1999年日本公演』プログラム, テレビマンユニオン, 1999年

「序」『児島虎次郎』(編者: 松岡智子/時任英人), 山陽新聞社, 1999年, pp.1-2

「序」『オルセー美術館』展カタログ, 国立西洋美術館, 2000年, pp.12-13

「ルノアール展に寄せて 永遠の美の賛歌」, 北海道新聞, 1999年

6月21日

「遠山一行著『マチスについての手紙』—感性と知性の見事な融合—」『波』7月号, 新潮社, 1999年, pp.18-19

「日本人の美意識を探る」『国際文化会館会報』Vol.10, No.2, (財)国際文化会館, 1999年, pp.1-2

「絵画を学ぶ喜び」『NHK学園西洋美術への誘いコーステキスト『西洋美術史入門』, 日本放送協会, 1999年

「いつまでも残る存在感」, 四国新聞, 1999年9月7日

「江藤淳追悼」『新潮』10月号特大号, 新潮社, 1999年, pp.242-243

「自然と呼応 鮮烈な立体 彫刻の森美術館30周年記念展『森に生きるかたち』によせて」, 産経新聞, 1999年9月12日

「日本の美意識の勝利」『家庭画報』500号, 世界文化社, 1999年, p.220

「児島虎次郎展によせて」『没後70年児島虎次郎展カタログ, 「没後70年児島虎次郎」実行委員会, 1999年, p.9

「序文」『シャガール色彩の詩人』(著者:ダニエル・マルシェツォー), 創元社, 1999年, pp.1-4

「あふれる情感の揺れ ピカソ 子供の世界展特集」, 読売新聞, 1999年10月26日

「佐治敬三氏を悼む」, 東京新聞, 1999年11月8日

「サントリーコレクション」『サントリーコレクション』展カタログ, 第1巻 日本美術 エミールガレ, サントリー-ミュージアム, 1999年, pp.4-5

「時代を映す魅惑の絵画」『サントリーコレクション』展カタログ, 第2巻 絵画, サントリー-ミュージアム, 1999年, pp.2-3

「ブルクハルト」, 毎日新聞コラム「この人この3冊」, 1999年11月21日

「国際文化交流における美術館の役割」『文部時報』1月号, ぎょうせい, 2000年, pp.26-29

「イーゼンハイム祭壇画の画家」『月刊都響』2月号, (財)東京都交響楽団, 2000年, pp.5-8

「藤田芸術」に再び輝きを, 読売新聞, 2000年2月14日

「蕨の葉の啓示」『ジョン・ラスキン 思索するまなざし』展カタログ, ラスキ文庫, 2000年, pp.6-7

「選評」『VOCA2000』展カタログ, 上野の森美術館, 2000年, p.11

「開催に寄せて」『ピカソ 子供の世界』展カタログ, 国立西洋美術館, 2000年, pp.14-16

“CULTURE AND CIVILIZATION,” *JAPAN ECHO*, Vol.26, No.2, pp.44-45

“CULTURAL TRADITION,” *JAPAN ECHO*, Vol.26, No.3, pp.41-42

“COMMUNICATION JAPAN TO THE WORLD,” *JAPAN ECHO*, Vol.26, No.5, pp.6-7

“IN MEMORIAM: ETO JUN,” *JAPAN ECHO*, Vol.26, No.6, pp.32-33

“THE EMPEROR'S DECENNIAL,” *JAPAN ECHO*, Vol.27, No.1, pp.6-7

「天心と近代日本美術のあゆみ」(パネリスト兼コーディネーター:高階, パネリスト:木下長広/佐藤道信/丹尾安典/森田義之, 開催日時:1997年11月, 場所:茨城県天心記念五浦美術館), 『ミュージアムマガジン ドーム』第43号, 日本文教出版社, 1999年, pp.18-33

「第二回美術史学会東支部シンポジウム前編」『LR』第13号, リマ

ーク, 1999年, pp.36-73

「第二回美術史学会東支部シンポジウム後編・国立博物館, 美術館などの独立行政法人化問題徹底討論」『LR』第14号, リマーク, 1999年, pp.38-59

[監修]

『シャガール 色彩の詩人』, 創元社, 1999年

[座談会・インタビュー・鼎談・シンポジウム]

「芸大に夢はあるのか」(座談会:團伊玖磨/有賀誠人/菅沼準二/高階秀爾, 司会:瀧井敬子), 『芸大定期オーケストラ第284回』プログラム, 東京芸術大学, 1999年, pp.16-26「Guset Room 1999 Summer」(インタビュー:望月薫雄), 『ひゅーまんねっと』Vol.34, 住宅金融公庫, 1999年, pp.1-3

「死-再生の諸相」(鼎談:河合隼雄/大橋良介/高階秀爾), 『日本の美学』29号, べりかん社, 1997年, pp.8-39

「座談会」(内山武夫/酒井忠康/安永幸一/松田重昭/高階秀爾), 『現代日本絵画の展望』展カタログ, 東京ステーションギャラリー, 1999年, pp.9-15

「20世紀美術回顧」(対談:福田美蘭/高階秀爾), 四国新聞他, 1999年11月30日

「上野の山を世界に誇れる文化ゾーンに〜ミュージアム・オブ・ニッポン構想の行方」(座談会:平山郁夫/澄川喜一/阿部充夫/高階秀爾), 『芸術研究振興 上野の社会報』新春号, (財)芸術研究振興財団, 2000年, pp.2-5

“Au cœur de Tokyo, de nouvelles perspectives pour les musées,” *Les Architectes japonese et le musées*, International Conference, Musée du Louvre, Paris, June 1999

“L’Art Nouveau et le Japonisme,” *Maison de la culture du Japon à Paris*, Mairie de Nancy, December 1999

“The Art of Representation in Japan and West,” *Art for Life: The Culture of Aesthetics in Japan and the West*, International Symposium, Japan Society in New York, March 2000

高梨光正/Mitsumasa TAKANASHI

[作品解説]

新収作品解説「ピエトロ・ロンギ《不謹慎な殿方》」『国立西洋美術館年報』No.33, 2000年3月

[学会発表]

「アキッレスとプリセイス ヴィッラ・ヴァルマラーナのティエポロ—『ホメロスの間』の詩的源泉」美術史学会全国大会(於愛媛大学), 1999年5月

[その他の活動]

西洋美術館所蔵松方コレクションを中心としたガラス乾板(354枚)の保存処理とカタログ化およびデータベース化(1999年4月—2000年3月)

国立西洋美術館ホームページ編集(1999年9月—2000年9月)

前庭彫刻免震化工事基本設計ならびに彫刻修復処置プロジェクト:ロダン作《考える人》《カレーの市民》の基本設計, 前庭意匠(1999年7月—2000年3月末)

高橋明也/Akiya TAKAHASHI

[展覧会企画・構成]

「オルセー美術館展1999—19世紀の夢と現実」神戸市立博物館、1999年6月19日—8月29日/国立西洋美術館、1999年9月14日—12月12日

[著書]

『オルセー美術館展1999—19世紀の夢と現実』展カタログ(共著、共訳および編集)、日本経済新聞社、1999年

Rêve et Réalité—Collections du Musée d'Orsay, 同上展覧会カタログ仏語版、日本経済新聞社、1999年

[論文]

「夢の終わり—戦争と美術家たち」, 同上カタログ, pp.21-27

[エッセイ・作品解説など]

「19世紀の人間—夢と現実」, 同上カタログ序文(共同執筆), pp.17-20(仏語訳含む)

「宗教」「戦争/共和国」「家族」「人体」, 同上カタログ章解説, pp.46, 65, 83, 141

同上カタログ作品解説(cat.nos.1, 16, 22, 27, 34, 43, 53, 72, 85, 117, 123)

「作らない感覚の発露—エドゥアール・マネ《浜辺にて》」, 〈オルセー美術館展 名作の秘密(2)〉, 日本経済新聞朝刊, 1999年5月10日

「〈フランス地方美術館巡り〉: (38)トロワ・近代美術館, (39)コート・ダジュールの美術館 その7—ニース市とその美術館[下]—マルク・シャガール国立聖書美術館」『Bon Voyage』Nos.82, 83, エール・フランス国営航空会社, 1999年

新収作品解説「アリ・シェフェール《戦いの中、聖母の加護を願うギリシャの乙女たち》」『国立西洋美術館年報』No.33, 2000年3月, pp.21-24(英語訳含む)

[口頭発表・講演など]

「知られざる美術の宝庫—プティ・パレ美術館とパリ市の美術コレクション」, 「プティ・パレ美術館展」記念講演会, 鹿児島市立美術館, 1999年6月25日

「写真術と19世紀の感受性と美術」, 「オルセー美術館展1999」記念シンポジウム「視覚の19世紀—レアリテのゆくえ」基調講演およびパネル・ディスカッション司会, 日経ホール, 1999年9月16日

「夢と現実のはざままで—美術家とモデル」, 「オルセー美術館展1999」記念講演会, 国立西洋美術館, 1999年10月9日

[その他の活動]

前庭彫刻免震化工事基本設計ならびに彫刻修復処置プロジェクト: ロダン作《考える人》《カレーの市民》の基本設計, 前庭意匠(1999年7月—2000年3月末)

「オルセー美術館展1999」記念シンポジウム「視覚の19世紀—レアリテのゆくえ」の企画

「ルーヴル美術館展(仮称)」(2003年度開催予定)の調査・準備展覧会紹介記事; 『ゼフェロス』第6号(1999年), 『新美術新聞』No.873(1999年9月21日号), 『うえの』No.485(1999年9月号)他展覧会紹介講演会; 朝日カルチャーセンター湘南(1999年9月20日), 日本工業クラブ(1999年10月19日), 朝比奈小学校市民図書館(1999年10月30日)他

展覧会紹介番組出演; NHK BS2(「秋の展覧会」1999年11月6日放映), テレビ東京(「たけしの誰でもピカソ」1999年11月12日放映)

青山学院女子短期大学非常勤講師(1999年4月—9月)

ジャポニスム学会実行委員会

富山県立近代美術館「これからの近代美術館」検討委員会委員  
NTT第22回こねっと・セミナー「美術ってなあに?」(小・中学校と現場を結ぶ遠隔双方向デジタルセミナー)講師, アーバンネット大手町ビル, 1999年11月8日

『美術でめぐる19世紀のフランス』監修, 日本経済新聞社, 1999年  
『オルセー美術館コレクション—19世紀の夢と現実』(CD-ROM)監修, 日本経済新聞社/電通, 1999年

『週刊世界の美術館』編集協力, 講談社, 1999-2000年

田中正之/Masayuki TANAKA

[展覧会の企画・構成]

「ピカソ 子供の世界」(会期:2000年3月14日—6月18日)

[著書]

『ピカソ 子供の世界』展カタログ(共著), 2000年3月

『ピカソ 子供の世界:別冊研究論文篇』(共著), 2000年3月

[論文]

「マン・レイにおける女性の眼の表現と『不気味なもの』」『美学』第50巻第3号, 1999年12月, pp.25-36

「関係性のなかでの子供の構築」『ピカソ 子供の世界:別冊研究論文篇』, pp.79-85

[翻訳]

ヴェルナー・シュピース「モダニティの象徴としての幼年時代」『ピカソ 子供の世界』展カタログ, p.18

(共訳)ヴェルナー・シュピース「ピカソ 子供の世界」『ピカソ 子供の世界:別冊研究論文篇』, pp.5-48

[口頭発表]

「マン・レイにおける女性の眼への操作」美学会東部会例会, 1999年7月3日, 成城大学

[その他の活動]

神戸大学非常勤講師

「アメリカン・ヒロイズム」(仮称)展(2001年8月開催予定)の調査・準備

田邊幹之助/Mikinosuke TANABE

[翻訳・カタログ編集]

『記憶された身体—アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫』展カタログ, 国立西洋美術館, 1999年, pp.20-51

[研究]

文部省在外研修(短期), 2000年2月—4月

「旧東ドイツ圏の後期中世木彫を中心とする聖堂内装の研究」[近世における死の舞踏本の研究], ミュンヘン中央美術史研究所, 他

[その他の活動]

「死の舞踏」展開催準備(2000年)

「ブラド美術館」展(仮称)開催準備(2002年)

専修大学非常勤講師(1999年4月-2000年2月)

塚田全彦/Masahiko TSUKADA

[保存修復事業]

前庭彫刻免震化工事基本設計ならびに彫刻修復処置プロジェクト:ロダン作《考える人》《カレーの市民》の基本設計, 前庭意匠(1999年7月-2000年3月末)

[論文]

「美術作品輸送用クレートの構造と輸送中の温度・相対湿度の変化について(その1)」『国立西洋美術館研究紀要』No.4, 2000年3月, pp.57-68(共著)

[研究]

平成11年度文部省科学研究費(基盤研究A-2)「絵画作品展示・輸送用マイクロクライメイトボックスの開発」

共同研究「酸化プロピレンの絵画材料に対する影響」

[その他の活動]

小企画展示「地獄の門の免震化と修復」1999年7月~

国際会議参加

“International Infrared User's Group Editing Meeting,”  
Infrared User's Group in Conservation Science, 24-28 May  
1999, Firenze

「イタリア中部地震文化財修復支援募金」事務局運営, 1997年10月~

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

'99夏休み子どもプログラム「光」, 1999年7月1日-9月5日

「イタリア・ルネサンス展」展覧会ガイド編集

「記憶された身体」リーフレット編集

「Art Around the Corner」補助, ワシントン・ナショナル・ギャラリー,  
1999年10月19日-2000年3月16日

[口頭発表]

「国立西洋美術館の教育普及活動について」ワシントン・ナショナル・ギャラリー, 1999年12月14日

[その他の活動]

文部省在外研究(1999年9月1日-2000年9月27日)

波多野宏之/Hiroyuki HATANO

[著書]

『新版博物館学講座11 博物館情報論』(共著), 雄山閣出版,  
1999年, 252p

『第2回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム:美術情報の明日を考える 報告書』(共編著), アート・ドキュメンテーション研究会, 2000年, 162p

[論文]

「デジタルミュージアムへの道」『科学 EYES』(神奈川県立川崎図書館), 第41巻第1号, 1999年11月, pp.1-11

「国立西洋美術館情報資料センター(仮称)の目指すars」『arsの現場とツールの諸相 II』アート・ドキュメンテーション研究会, 2000年3月, pp.77-1~77-10

[口頭発表・講演など]

「アート・ドキュメンテーション研究会10年の総括」(会長挨拶), 「アート・ドキュメンテーションの可能性」(パネルディスカッション), 美術情報の明日を考える—第2回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム, 2000年11月

[その他の活動]

「インターネットによる仮想展覧会に関する共同研究」(共同研究員との研究, 1999年4月-2000年3月)

「美術館における超高精細画像の応用に関する調査研究」(客員研究員との共同研究, 1999年4月-2000年3月)

「20世紀における民族誌的映画の分析と分類研究」(国立民族学博物館共同研究, 1999年4月-2000年3月)

「文化変容にかかわる民族誌映像資料の再検証」(科学研究費補助金[国際学術研究, 研究代表:国立民族学博物館大森康宏]研究分担者, 1999年4月-2000年3月), 同研究の一環として「映像情報研究と映像資料調査」のためオーストリア, フランスの研究機関の訪問調査(2000年3月)

資料コーナーの公開運用

図書資料(逐次刊行物)データ週及入力

デジタルギャラリー:超高精細画像検索表示システムの公開運用およびデータ追加

国立西洋美術館情報資料懇談会の継続開催

駿河台大学大学院文化情報学研究科非常勤講師(1999年4月-7月)

放送大学客員教授(1999年7月-8月)「図書館資料利用論I 印刷物からマルチメディアへ」スカイパーフェクTV, 15回放映)

慶應義塾大学文学部非常勤講師(1999年9月-2000年3月)